

新生美術館の設計検討状況について

設計検討案の方向性

(現時点での詳細は、別紙資料 1 参照)

- 1 新館として、主に現代美術の展示を中心とした展示室を 2 室を新設、うち 1 室はトップライト（天窗）を設けて自然光を活かした展示を行い、開かれた美術館や新鮮なイメージを打ち出す。
- 2 既存館の展示室を公開承認施設に対応した仕様に改修し、仏教美術等の指定文化財を良好な環境で展示する。
- 3 滋賀ならではの特徴的な収蔵品である「神と仏の美」「小倉遊亀」「アール・ブリュット」については、その魅力にいつでも出会える常設展示室を設置する。
- 4 キッズ・ルームの新設や、ギャラリー、ワークショップ・ルーム、ショップの増設、独立したレストラン棟の新設など、幅広く県民が参加し、楽しめる機能を充実させる。

設計案の具体化

県民等意見

- 県民フォーラム開催
第 1 回：平成 27 年 9 月 5 日・長浜市
第 2 回：平成 28 年 2 月（予定）
- ワークショップ、市町・関係団体等ヒアリングの実施
- 「みんなで創る美術館円卓会議」（別紙資料 2 参照）による議論

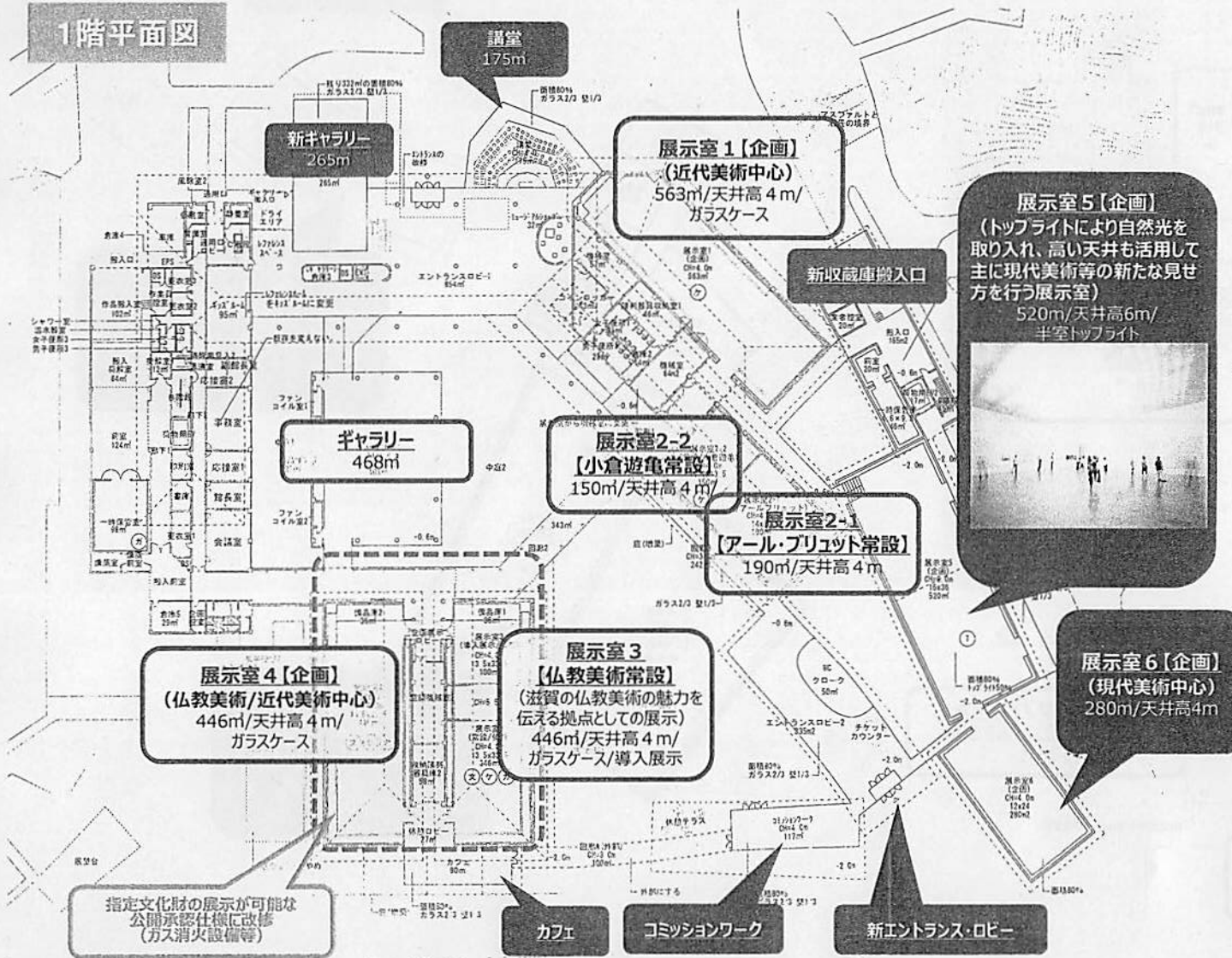
関係機関等との協議

- 文化庁、東京国立文化財研究所等
- 新生美術館連携推進懇話会（別紙資料 2 参照）
- 庁内関係所属

実施設計の完了（予定：平成 28 年 7 月末）

現時点での設計概要

1階平面図



設計について今後検討する主な項目

- 1 指定品(国指定文化財・美術品)の企画展示面積の確保(現案では展示可能な面積が半減する(892㎡→446㎡))
→仏教美術の常設展示を展示室1に設け、展示室3はこれまで通り企画展示室とすることを検討
- 2 公開承認施設指定に向けた文化庁等の確認・了解
→設計者を交え文化庁と早急に協議を進める
- 3 収蔵庫・展示室等の消火設備
→必要なガス消火設備等の導入検討
- 4 展示室5のトップライト設置・維持管理のコストとリスクの把握
→情報収集と必要な対応策の検討
- 5 新設エントランス・ロビーの内部及びアプローチの傾斜(スロープ)
→バリアフリーの観点からのリフト設置等対応策の検討

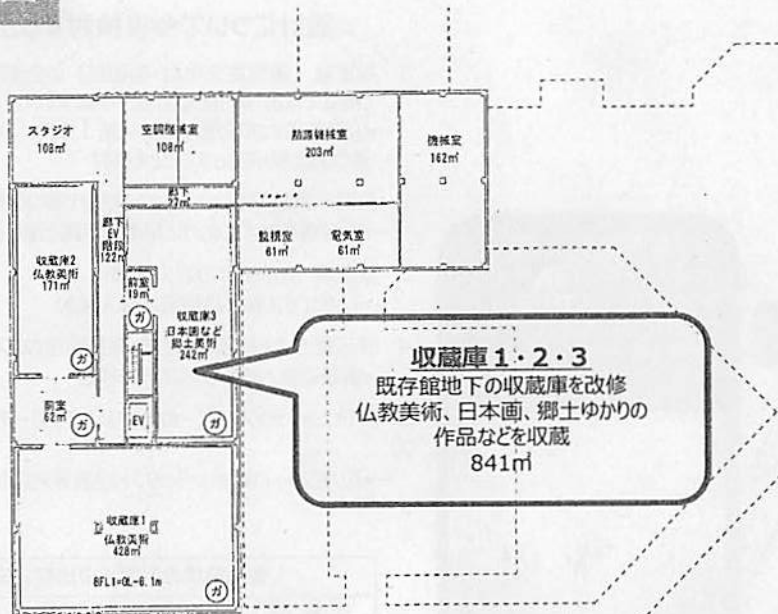


整備前後の室構成の比較(床面積)

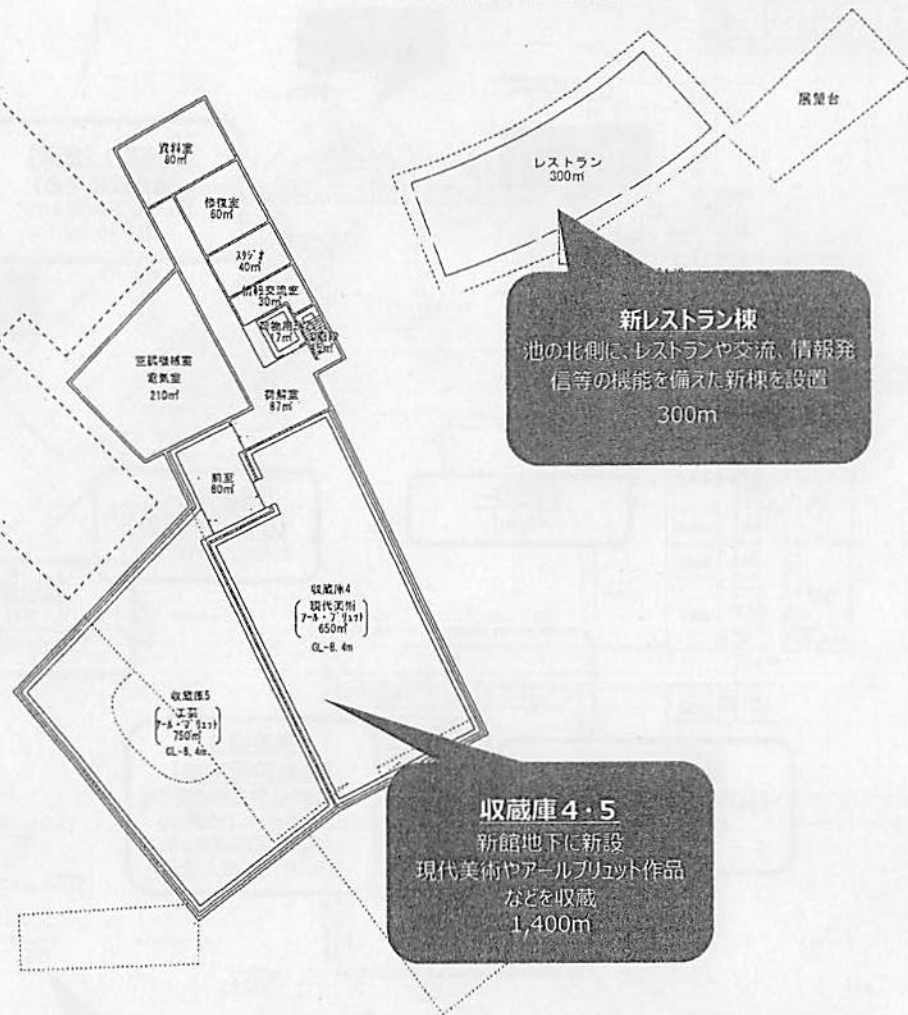
室・部門	現在	整備後	備考
常設展示室			
近代・郷土美術	430		企画展示室で展示
小倉遊亀	130	150	展示室2-2
現代美術	360		企画展示室で展示
仏教美術		446	展示室3(公開承認)
アール・ブリュット		190	展示室2-1
常設展示計	920	786	
企画展示室			
企画展示室	896	563	展示室1(近代美術中心)
		446	展示室4(公開承認)
		520	展示室5(現代美術中心・自然光)
		280	展示室6(現代美術中心)
企画展示計	896	1,809	
ギャラリー	478	743	新ギャラリー増設
展示部門合計	2,243	3,442	
情報・交流・アメニティ	567	1,350	キッズ・ルーム等新設、レストラン、ショップ等拡充
収蔵部門	1,347	3,700	琵琶湖文化館収蔵品受け入れ、アール・ブリュット等に対応した収蔵庫増設
調査・研究部門	224	603	
管理・共用部門	4,163	4,700	新エントランス設置
総合計	8,544	13,795	(概算につき、内訳と計は一致しない)

●●● 新館 ○○○ 既存館(改修)

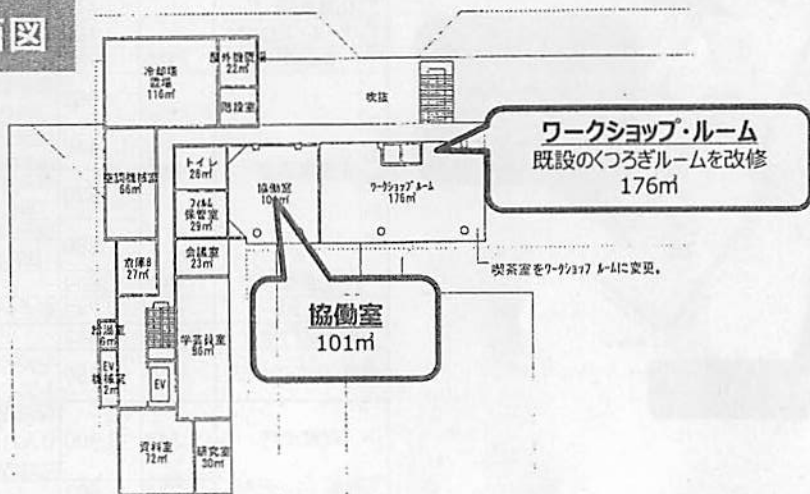
地階平面図



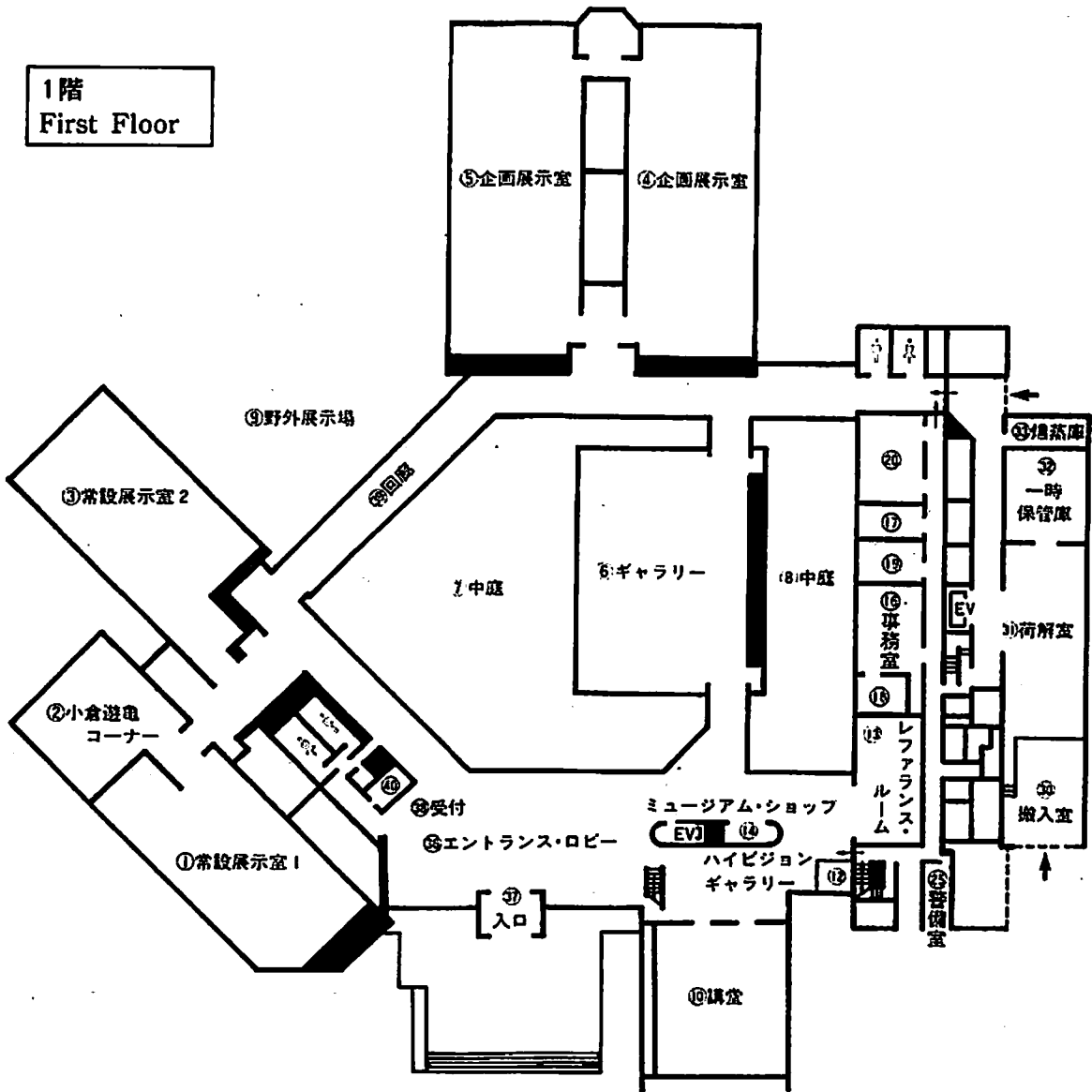
レストラン棟



2階平面図



館内案内図/Floor Plan



展示部門/Exhibition Area

- ①② 常設展示室(1)/Gallery for Permanent Collection (1)/509㎡
②は小倉遊亀コーナー/In the Room ② exhibiting are Works of Yuki Ogura
- ③ 常設展示室(2)/Gallery for Permanent Collection (2)/360㎡
- ④⑤ 企画展示室/Gallery for Temporary Exhibition/各448㎡
- ⑥ ギャラリー/Rental Gallery/478㎡
- ⑦⑧ 中庭/Courtyard
- ⑨ 野外展示場/Open-Air Exhibition Area

サービス部門/Educational Service Area

- ⑩ 講堂/Auditorium/218㎡
- ⑪ 教養室/Seminar Room/94㎡
- ⑫ ハイビジョン・ギャラリー/Hli-Vision Gallery
- ⑬ レファランス・ルーム/Reference Room/94㎡

事務部門/Office Area

- ⑭ 事務局/Administrative Office
- ⑮ 館長室/Director's Office
- ⑯ 副館長室/Vice-director's Office
- ⑰ 応接室/Guest Room
- ⑱ 会議室(1)/Conference Room(1)
- ⑲ 学芸室/Curatorial Office
- ⑳ 研究室/Study Room
- ㉑ 資料室/Study Library
- ㉒ 会議室(2)/Conference Room(2)
- ㉓ 警備室/Guard Office
- ㉔ 機械室/Machine Room

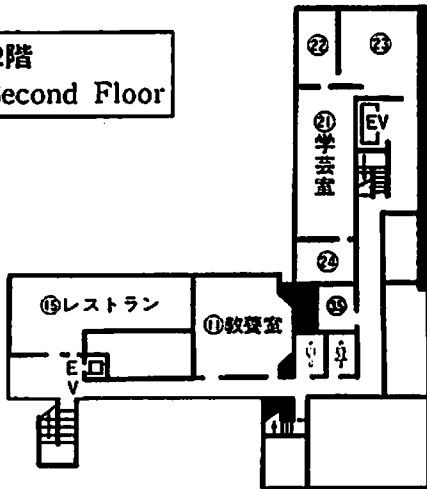
- ㉕ ミュージアム・ショップ/Museum Shop/13㎡
- ㉖ レストラン「フラミンゴ」/Café Restaurant "Flamingo"/161㎡

建築・設備概要

〈建築概要〉

位 置	大津市瀬川南大栄町1740-1(文化ゾーン内)
敷地面積	18,288.8㎡
規模構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上2階 地下1階 建築面積 6,772.73㎡ 延床面積 8,544.43㎡
仕 上	外壁 珧器質タイル貼 屋根 銅板葺緑青仕上 建具 ブロンズ製建具 一部アルミ製建具 展示室床 カーペットタイル 展示室壁 クロス
設計監理	滋賀県土木部建築課 株式会社日建設計
施 工	構築工事 竹中・笹川建設工事共同企業体 電気設備工事 日本電設・中山電気建設工事共同企業体 機械設備工事 三機・関西設備建設工事共同企業体
工 期	昭和57年3月18日着工 昭和58年10月15日竣工
総工費	約35億円

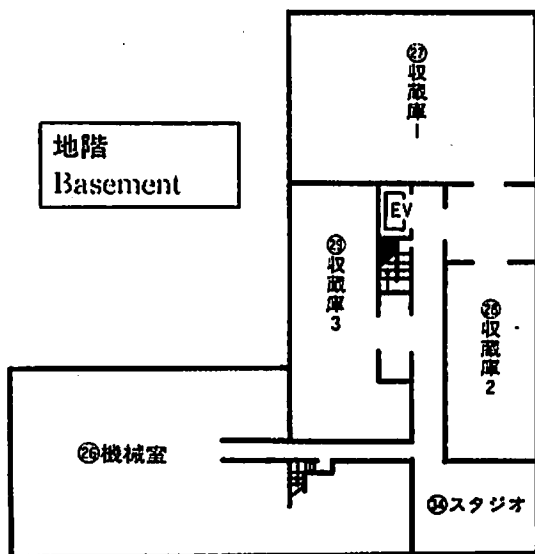
2階
Second Floor



〈設備概要〉

電気設備	引込 文化ゾーン受電所より3φ-3W6.6KV1回線地中引込 受変電 変圧器1,300K(動力用800、電灯用500) 発電機 ディーゼル機関3φ-3W220V 150KVA 蓄電池 ポケットアルカリ形300AH 88セル 動力 空調用400KW 一般用100KW 非常用85KW 照明 展示室 紫外線防止自然白色蛍光灯40W(調光用) 移動照明装置12台 レイビーム150W、ミニハロゲン75W 収蔵庫 紫外線防止自然白色蛍光灯40W ギャラリー レフランプ100W、レイビーム150W、ミニハロゲン75W ロビー、講堂ミニハロゲン75W、100W
放送	館内放送設備、インターホン設備、BGM装置
電話	クロスバー式分散中継台方式、局線4回線
視聴覚	16ミリ映写機2台、スライド映写機2台、実物投影機1台、ビデオ自動選択提供システム3ブース、ビデオ再生機2台、ハイビジョン静止画再生システム1台
防災	自動火災報知、煙感知器連動制御、非常照明、誘導灯、非常放送
空調設備	熱源 ガス直焚冷温水発生機140RT2基 空調 ベースボードヒーター・ファンコイル併用 単一ダクト方式一部可変風景方式、14系統 自動制御 熱源、蓄熱槽、ポンプ、空調機等、制御計測
衛生設備	給水 市水道使用、受水槽20t、25t各1槽、加圧給水ポンプ方式 排水 建物内分流、敷地内合流方式、公共下水道接続 ガス 空調熱源、厨房 都市ガス使用 消火 屋内消火栓、ハロンガス消火、連結放水
昇降機設備	乗用エレベーター(身障者用) 油圧式750kg1基 荷物用エレベーター 油圧式3,000kg1基

地階
Basement



収蔵部門/Storage Area

- ㉗ 収蔵庫(1)/Storage(1)/427㎡
- ㉘ 収蔵庫(2)/Storage(2)/182㎡
- ㉙ 収蔵庫(3)/Storage(3)/240㎡
- ㉚ 搬入室/Shipping Entrance/167㎡
- ㉛ 荷解室/Unpacking Room/121㎡
- ㉜ 一時保管庫/Temporary Storage/97㎡
- ㉝ 燻蒸庫/Fumigation Room
- ㉞ スタジオ/Photo Studio/89㎡
- ㉟ フィルム保管庫/Storage for Films and Videotapes/19㎡

ロビー・回廊/Lobby, Corridor Area

- ㊿ エントランス・ロビー/Main Lobby
- ㊿ 入口/Entrance
- ㊿ 受付/Information
- ㊿ 回廊/Corridor
- ㊿ コインロッカー/Locker Room

Architectural Outline

Location: 1740-1 Seta-Minamiogaya-chō, Otsu-city;
520-2122 Shiga, Japan
Site Area: 18,288.8㎡
Building Area: 6,772.73㎡
Floor Space: 8,544.43㎡
Structure: Steel reinforced concrete structure partly using steel-frame structure
2 storey building with basement
Planned by: NIKKEN SEKKEI Ltd.
Ground Breaking: March 18, 1982
Completion: October 15, 1983

新生美術館連携推進懇話会

新たな美術館が地域や幅広い分野とつながり、協働で取組を推進することにより、創造的で活力ある滋賀が実現できるよう、県および関係する団体等の間での情報や意見交換を図る。

H27.3.24現在・順不同

委員名	団体名	役職
日比 均	大津市	部長
白子 與志久	草津市	教育部長
北岡 賢剛	社会福祉法人 グロー	理事長
崎山 美智子	公益社団法人 滋賀県手をつなぐ育成会	理事長
藤田 義嗣	一般社団法人 滋賀経済産業協会	副会長
吉田 郁雄	滋賀経済同友会	代表幹事
大道 良夫	滋賀県商工会議所連合会	会長
大橋 淳一	滋賀県商工会連合会	副会長
和田 光平	滋賀県中小企業団体中央会	理事
川戸 良幸	公益社団法人 びわこビジターズ・ビューロー	副会長
永繁 昭	滋賀県写真連盟	会長
神田 浩	公益社団法人 滋賀県書道協会	理事長
土田 隆生	滋賀県造形集団	代表
山尾 才	滋賀県美術協会	理事長
木村 至宏	文化・経済フォーラム滋賀	代表幹事
鷺尾 遍隆	滋賀県文化財保護連盟	会長
藤山 佳秀	滋賀医科大学	理事・副学長
岡田 修二	成安造形大学	学長補佐
吉田 美喜夫	立命館大学	総長
赤松 徹真	龍谷大学	学長
河口 眞佐男	滋賀県美術教育研究会	会長
三日月 大造	滋賀県【座長】	知事

みんなで創る美術館円卓会議

地域と双方向につながる開かれた存在となることをめざして整備を進める新たな美術館について、その整備の過程において県内各地で活動する多くの県民や団体との連携・参画を促進するための意見交換や助言等の協力を得る。

H27.7.1現在・五十音順

氏名	所属等
アサダ ワタル	日常編集家／京都精華大学非常勤講師／「美の滋賀」創造事業コーディネーター
安達 みのり	子育て応援CHEERS STATION代表／県社会教育委員／県立近代美術館協議会委員
石川 亮	成安造形大学地域連携推進センター兼附属近江学研究所研究員
北川 陽子	ファブリカ村村長／県基本構想審議会委員／しが中小企業女性中央会会長
木元 聖奈	社会福祉法人グロー アール・ブリュットインフォメーション&サポートセンターアドバイザー
佐藤 祐子	株式会社国華荘代表取締役社長／県教育委員／おごと温泉旅館協同組合副理事長
高橋 順之	米原市教育委員会歴史文化財保護課主査
辻村 耕司	写真家
中田 洋子	NPO法人エナジーフィールド常務理事／BIWAKOビエンナーレ・キュレーター
西川 唱子	NPO法人結びめ／高島地域雇用創造協議会
橋本 敏子	元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会代表／歴まち大津の未来を考える会
藤原 昌樹	造形作家

新生美術館

Modern Art



Buddhist Art



Oumimai



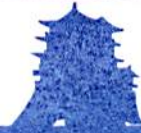
Buddhist Art



Chikubushima



Biwakobunkakan



Lake Biwa



Art Brut



Yoshi



Oumifuji



Biwamasu



Shirahigejinjya



Art Brut



Ibukiyama



私たちの
美術館の未来を
一緒に考えて
みませんか？

「美の滋賀」^{PLUS}あなた^{PLUS}美術館

川端や棚田、街道の街並み、歴史を刻む建造物など、滋賀に住む私たちは自然と共に生き、長い時間をかけ、日常の中にたくさんの「美」を育ててきました。そして今、平成31年度までの開館をめざし、新たな美術館がこの地に生まれようとしています。さまざまな「美」の視点を持つ方々と共に、これからの美術館の可能性を語り合うフォーラムを開催します。美術館の未来を一緒に考えてみませんか？

第1回「みんなで創る美術館フォーラム」日時●平成27年9月5日[土]

時間●14:00~17:00 会場●ヤンマーミュージアム研修室 滋賀県長浜市三和町 6-50 TEL0749-62-8887

定員：200名(先着順 ※事前申し込みが必要です) 参加費：無料

自然の美、生活の美、心の美…ここは「美の滋賀」への入り口。



フォーラム内容

講演 I

SANAA 事務所 (新生美術館設計者)
妹島和世 氏 Sejima Kazuyo
西沢立衛 氏 Nishizawa Ryue

講演 II

滋賀県顧問 (新生美術館整備担当)
長谷川祐子 氏 Hasegawa Yuko

パネルディスカッション

「出会い、可能性、美術館が目指すこと」

◎ファシリテーター

日常編集家 / 「美の滋賀」創造事業コーディネーター
アサダワタル 氏 Asada Wataru

◎パネリスト

成安造形大学附属近江学研究所 研究員 / 美術家
石川 亮 氏 Ishikawa Ryo

長浜市曳山博物館長 / 滋賀県文化審議会委員
中島誠一 氏 Nakajima Seiichi

社会福祉法人グロー / 国立美術館運営委員会委員
田端一恵 氏 Tabata Kazue

SANAA 事務所
妹島和世 氏 **西沢立衛 氏**

滋賀県顧問
長谷川祐子 氏

応募方法

◎参加には事前申込が必要です。

下記内容をFAXまたはメールにてお知らせください。

- ・ 申込者氏名
- ・ 所属 (あれば)
- ・ 住所
- ・ 電話番号
- ・ FAX 番号またはメールアドレス
- ・ 申込み人数 (申込者含め2名まで)
- ・ パネルディスカッションで議論してもらいたいこと

参加者の決定

新生美術館整備室より FAX またはメールでお知らせします。

なお、応募者多数の場合は県内在住の方を優先して先着順により決定します。

会場地図



◎JR 長浜駅から徒歩約10分

◎駐車場には限りがありますので出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

申し込み・お問い合わせ先

滋賀県文化振興課 新生美術館整備室

TEL/077(528)3346

FAX/077(528)4833

E-Mail/newmuseum@pref.shiga.lg.jp